2022 人事院勧告

3年ぶりのプラス勧告《月例給・一時金》も

中高年層の月例給改定見送り、勤勉手当比率さらに高く

○官民較差に基づき初任給・若年層中心に改善。○一時金0.10月分勤勉手当を引き上げ

■８月８日、人事院は国会と内閣に対し、官民較差0.23％・921円にもとづき国家公務員の本俸（月例給）の初任給・若年層の引上げ、一時金（ボーナス）支給月数0.10月引き上げを「勧告」。本俸・一時金ともに《引き上げ勧告》となりました。

※「給与勧告」のポイント（一部抜粋）

民間給与の調査… 約11,800民間事業所の45万人の個人別給与を調査（完了率83.2％）。公務と民間の４月分の給与を調査。

（１）官民較差…（民間企業と国家公務員の給与水準の比較）0.23％・921円

（２）月例給… 民間企業の初任給動向等を踏まえ、**一般職高卒初任給を4,000円、同大卒初任給を3,000円引上げ。20歳台半ばに重点を置き、初任の係長級の若手職員にも一定改善が及ぶよう30歳台半ばまでの職員の号俸を改定。**その他の俸給表は、行政職（一）との均衡を基本に改定。

（３）ボーナス… 昨年８月から本年７月までの直近１年間の民間支給実績（支給割合）と公務の年間支給月数を比較。

□民間4.41月・公務4.30月**→0.10月分引き上げ、年間4.40月分に改定。**

《勤勉手当に配分》

※民間の支給状況等を踏まえ、勤務実績に応じた給与推進のため、引上げ分を勤勉手当に配分。勤勉手当支給月数引上げ分の一部を用いて、上位の成績区分に係る原資の確保を図る。

		６月期	12月期
2022年度	期末手当	1.20月（支給済）	1.20月（改定なし）
	勤勉手当	0.95月（支給済）	**1.05月（＋0.10月）**
2023以降	期末手当	1.20月	1.20月
	勤勉手当	**1.00月（＋0.05月）**	**1.00月（＋0.05月）**

〔今年度〕12月勤勉手当が＋0.10月となる。〔来年度以降〕６月と12月の勤勉手当を各＋0.05月とする。

（４）実施時期…月例給：2022年４月１日に遡って適用。ボーナス：法律の公布日。月例給の引き上げ分と一時金は差額支給

今年度の平均年間給与（行政職Ｉ）2022（R04）年　本俸＋0.23％　一時金4.40月（＋0.10月）平均年間給与増減＋5.5万円

国家公務員給与と民間給与…民間給与との比較を行っている行政職俸給表（一）適用職員の平均給与月額は405,049円となり、昨年４月と比較して若年者の人数が増加（平均年齢42.7歳）したこと等により2,104円減少。

2022年人事院勧告にあたって

８月８日人事院勧告で、本俸・一時金ともにプラス勧告となったことは私たちの運動の成果です。しかし30歳台後半以降職員の月例給は据え置き、公務全体の改善とならない勧告となっています。

月例給は、若年層の引き上げ、初任給は大卒で３千円、高卒で４千円を引き上げるものの官民の初任給の較差解消には、至っていません。また勧告にはこの間の物価上昇は考慮されていません。

一時金は、０・10月を勤勉手当で引き上げるとしました。昨年・一昨年と２年連続で多くの自治体では会計年度任用職員の期末手当が引き下げられました。勤勉手当の引き上げが勧告された今年は、当然一時金が引き上げられるべきです。勤勉手当（相当額）の支給へ法改正を求める運動とともに自治体でも正規職員の期末・勤勉手当に見あう一時金の支給は待ったなしとなっています。

報告では「社会と公務の変化に対応できるよう『給与制度をアップデート』し、能率的で活力ある公務組織の実現に向けてとりくむ」と触れていますが、これは定年引き上げにあわせて昇任・昇格・昇給の基準、俸給表などを見直すとしたことに符合します。また「２０２４年の地域手当見直し」に向けても、地域間格差解消にはいっさい言及していません。生涯賃金に大きな影響を及ぼす可能性もあり、改悪は絶対許してはなりません。

勧告では、女性が４分の３を占める非常勤職員の不安定雇用や劣悪な処遇の改善について、全く言及がなかったことは問題です。公務の中で重要な役割を担う非常勤職員の処遇改善となるよう人事院は社会的な責任を果たすべきです。

自治労連は「過労死ライン」を超える長時間労働を直ちになくし、住民のいのちとくらしを守るために、必要な人員増と体制強化、会計年度任用職員の雇用の安定と処遇改善を強く要求します。住民のいのちとくらしを守りきり、国民一人ひとりが大切にされる社会を実現するため、全力で確定闘争など、たたかいをすすめましょう。

自治労連愛媛

第 547 号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
j-ehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二

（組合員の購読料は組合費のなかに含まれています）

日　程

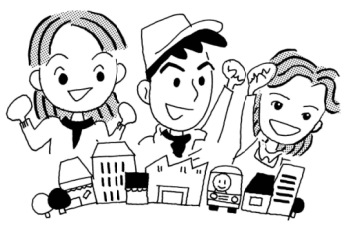
【８月】
20　県本部拡大執行委員会（web併用）
　自治労連青年部定期大会（web）
　自治労連医療部会定期総会（web）
21　自治労連非正規公共評定期総会（web）
25　自治労連地方組織賃金権利担当者会議（web）
27　自治労連女性部定期大会（web）
28　自治労連定期大会（web～29）

【９月】
３　愛媛労連定期大会（共済会館・web併用）
４　保育部会幹事会（web併用）
10　県本部拡大執行委員会・県本部労働学校（web併用～11）
　全労連女性部定期大会（web併用）

【10月】
８　四国Ｂ現業評労働学校

【医療介護評】四国ブロック学習会でケア労働者処遇改善の現状・今後の課題学習

８月６日、四国ブロック医療介護学習交流会をオンラインで開催、19時開始にもかかわらず20人が参加（愛媛10・高知10人）。初めに主催者から、今年２月からのケア労働の処遇改善について「介護は一人当たり９千円程度の引き上げと制度設計されたが、看護は４千円に留まっている。しかも対象医療機関も３次救急もしくは年間救急搬送件数２００件以上を満たす場合に限られるなど、コロナ対応の実態に合わない形で区分されている」と現状の課題について説明。10月からの診療報酬改定に向けて学習会を設定。講師の倉田均さん（愛媛医療生協・専務理事）は現行制度の問題点を「コロナ対応の防疫手当は日額３～４千円の支給に対し、処遇改善は月額４千円程度で、支給対象看護師には手当増よりも人員確保を求める声のほうが大きい。支給対象も限定され職場に分断を持ち込んだ印象」など指摘。その上で10月からの診療報酬改定については「８月３日中医協への答申で看護師一人当たり１万２千円となるようだが、診療報酬に組み込まれたことで、当院の場合入院患者一人１日当たり自己負担分が２百円程度増える（３割負担の場合）試算になる。患者負担を伴う処遇改善は問題で、加算対象外医療機関との賃金格差が広がり看護師の人材流動が起こる懸念がある」と説明。参加者と質疑応答を行いました。



寄せられた平和への思い「折り鶴」に願い込め、海外へ

《千羽鶴を海外へ送るつどい》

８月９日「平和の使者千羽鶴を海外へ送るつどい」が開かれ、20人が参加。はじめに原爆の被害者へ黙とう。今井・平和行進県実行委員長が開会あいさつし、今年の平和行進の経過と成果などの状況について報告。「わたしの被爆体験」として、被爆者の田中英子さん（84）が自身の被爆体験と共に、最近のできごとと今後への期待を話しました。参加者・団体から平和のとりくみの報告があり、また今年の折り鶴が今日までに約25万羽集まり、今年はアメリカ・インド・リトアニアの３カ国３団体へ送ることが報告されました。写真撮影の後、各団体へ送るために県内で集められた折り鶴と手紙を同封して箱詰めする作業を行いました。昨年までに送ったものとの合計では、33カ国91団体５３９万１千羽となります。

【伊予】大会開催。コロナ禍からの転換期
もっと輝く明日へ一致団結を！

伊予市職労は7月29日定期大会を開催し36人（＋委任状）が参加。昨年に続き、感染予防対策を講じ、「ウィズコロナへの転換期！もっと輝く明日に向けて一致団結」の大会スローガンなど、すべての議案を滞りなく審議しました。大会では、組合員でよかったと思える組合をめざした資格取得等の助成制度や組合カレッジ開催の継続、「自分たちで変える！」労働環境の改善の具体策を提案し、賛成多数で承認。討論では、青年部と保育部からは1年間コロナ禍の中、試行錯誤をしながらも前向きにとりくんでいる様子が報告されました。最後、おなじみの久保執行委員長による「団結ガンバロー」で大会を締めくくりました。

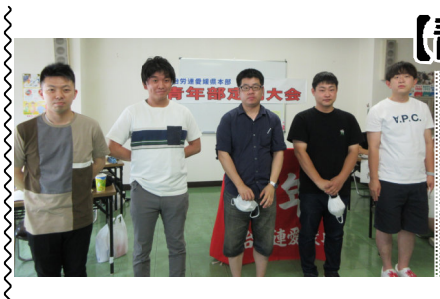
【宇和島】書面で定期総会開催。執行委員会で
秋季要求について職場課題を協議

宇和島市職は8月1日、書面による定期総会の議決と執行委員会を開催し、11人が参加。定期総会は組合員の過半数を超える賛成の議決権行使書が得られたことを確認し可決。執行委員会に移り、組織共済の改正に伴い、今までの給付金額を維持するかどうかについて今後も協議する方向としました。秋季要求書では、育休枠で正規職員の一定数確保職場の男女比、会計年度職員の処遇改善、通勤手当の改正、保育職場での休憩時間・パソコン時間の確保など、要求事項を出しあい、今後組合員にも意見を募集し、執行部でとりまとめ要求書に追加していくことを確認しました。

【南予総支部】定期総会。青プロ経験いかし
活動さらに活性化へ予算増

南予総支部は8月5日定期総会を開催し4単組15人が参加。経過報告では感染状況が厳しい状況が続く中でもリモート参加も活用しながら「県本部労働学校」「青プロ四国」などへ南予の各単組から多くの参加があったことなどが報告されました。各単組からも、秋季要求にむけて要求課題を集約中、定年引き上げへの交渉準備、コロナ対応、ワクチン接種対応、また青プロを無事開催することができ、南予総支部からも多くの青年が参加してくれた。単組役員も若返りがすすんでいる、などの報告がありました。次年度方針・予算では南予総支部内での活動活性化に向け、活動費を倍化させる予算が提起され、役員改選なども含めて、全会一致で確認されました。

【青年部】定期大会で、青プロ四国成功を報告
「びっくりするイベントやろう」と提起



県本部青年部は7月18日、第53回定期大会を開催し、6単組14人が参加。開会にあたり、坂東青年部長は「コロナ禍でも青プロ四国を開催することができた。今後青年部でみんながビックリするようなイベントをしていきたい」など主催者あいさつ。来賓として愛媛労連青年部長と自治労連青年部から用松書記長が参加。経過報告では青プロプレ企画、青プロ四国の開催など報告。運動方針では、反核へんろ、青年交流イベント・自治研青年講座など青年らしい企画の開催、など提案し全議案を採択。坂東青年部長の継続が確認され、コロナ後もみすえた青年部活動が始動しました。

【西予】執行委員会で署名・アンケート
組合の意義伝える学習会など計画

西予市職労は7月27日22年度新体制となり、初めての執行委員会を開催し11人が参加。上甲委員長が「委員長を受けたからには楽しく前向きに進めたい」とあいさつしそれぞれ自己紹介。議題では「人事評価制度の昇給反映にかかる意見書」提出、「秋季要求職場集会開催方法」など協議し、組合活動全体では「with コロナ」の視点に立ち、これまで自粛ぎみだった組合活動を感染対策に気を配りながら再開することを確認。その他「県人事委員会宛署名」「会計年度任用職員アンケート」のとりくみも確認。最後にミニ学習で「県内自治体と比較した西予市の給与水準と処遇」など意見交換。組合員学習会の開催など計画を進めます。

平和な世界を…ヒロシマデー集会
自治体労働者平和のつどい参加

《原水爆禁止世界大会》

8月5日広島市内で「第44回自治体労働者平和のつどい」が開催され、10地方組織から約40人が参加。愛媛からは、今年の平和行進の模様や毎年発行を続けている「平和行進パンフ」について紹介。原水爆や核兵器禁止条約に関するページの他、自治体要請に役立つ資料やアンケート、各地域の平和活動の写真などを取り入れ『楽しく読めてためになる冊子』を追求、またよく耳にする『国連憲章』『国際法』などの重要部分の抜粋を掲載し、歴史に学びながら、核兵器も戦争もない平和で安定した世界を私たちの手で作り出したいと思いつつ編集した」と報告しました。翌6日は「原水禁世界大会ヒロシマデー集会」に参加。日本の若い世代の発言がとても頼もしく感じる集会でした。

おたより ありがとう

■毎日暑くて溶けてしまいそうですが、入職以来続けている自転車通勤は頑張って継続しています（雨の日は車ですが…）。
（宇和島・新城）

■夏野菜をたくさんいただきます。ナス、ピーマン、とうもろこしなどなど。おかげで夏は野菜を買うことがありません。ありがたいことです。
（西予・中井）

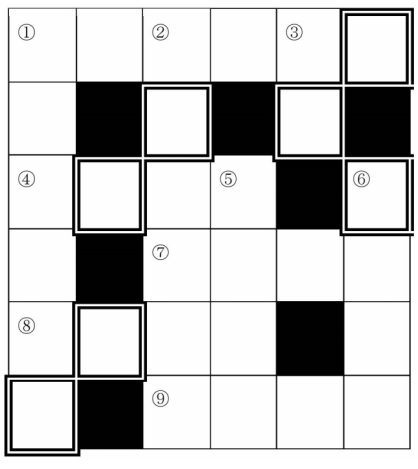
■このパズルを解いている7月にはいろいろな出来事がありましたが、変わらず地球は回ってて、本格的な夏の暑さを感じながら業務に励んでいます。一日の消費水分量が6Lを超えました。脱水症状に気を付けなければ。
（新居浜・大坪）

■夏休み。毎年高校野球を見るのが楽しみです。地方大会から甲子園まで。今年は感染対策をしながら応援団も球場入りできて見てる方も嬉しいです。
（伊予・上本）

■半年後に初の結婚記念日が訪れます。さすがに忘れないと思いますが10年20年と経った時、果たして忘れずにいられるでしょうか。自分は少し不安です。リマインダーに登録せねば。
（宇和島・青木）

■ここ最近、残業・休日出勤が続いてましたが、その間も家事・子育てに奮闘してくれた妻に官舎です。結婚記念日にはお返しをと思う今日この頃です。
（新居浜・藤井）

マス目を埋め、二重枠の7文字で、ある映画・ミュージカルにして下さい。



【ヨコのカギ】
①いまも変わらず。○○○○○○の味
④起・承・転・結で書かれたマンガ
⑦オーストラリアの都市。首都ではない
⑧「軽四輪自動車」の略
⑨「うなぎどんぶり」の略

【タテのカギ】
①一切の条件もつけない。○○○○○○降伏
②最後に○○○○○○で味を調えて完成
③女優、新○○結衣
⑤坊っちゃんスタジアム、○○○○スタジアム
⑥（独語）こんにちは。○○○○ターク

出題者　堀川孝行

■５４５号のパズルの答えは「ケッコンキネンビ」（結婚記念日）でした。正解は16通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

加藤　広敏（新居浜）
早瀬　祐樹（新居浜）
武智　徹（東温）
金繁　芽瑠（西予）
藤原　元（新居浜）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。
【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係　〒790-0003　松山市三番町8丁目10-2（FAX、メールも可　1面題字下に記載）
【締切り】9月27日【発表】549号（10月号）